

ダホン社製自転車装着ハンドルポスト自主回収について

ダホン総代理店
㈱アキボウ

info.dahon@akibo.co.jp

この度、ダホン社製自転車の2008年製造モデルの一部製品に装着されているハンドルポストに不具合があり、使用中に破損するおそれがあり、事故に発展する可能性がある為、ダホン本社より自主回収する旨の連絡がございました。

現在までに日本国内において上記不具合が原因で発生した事故等の報告はありませんが、最近、ドイツでクラックの発生が2件報告され、ダホン本社がおお客様の安全を最優先に考えハンドルポストの交換を決定しました。弊社と致しましては、対象製品をお買い求めになられました全てのお客様に対して、ハンドルポストを無償にて交換させていただきたいと存じます。誠に恐れ入りますが、ただちにご使用をお止めになって、当該製品をお買い求めになられた販売店へご連絡いただき、代品の入荷予定を確認の後、ハンドルポストの交換を受けて下さいます様、お願い申し上げます。なお、世界同時対応で生産に少々時間がかかる見込みですので、この点をご理解賜ります様、お願い申し上げます。

ご不明な点がございましたら、㈱アキボウ info.dahon@akibo.co.jp までご連絡下さい。

記

- <対象製品> 2008年製Radius Handle post (ラディアスハンドルポスト)を装着している、2008年5月以降に店頭にて販売された、下記モデルの一部。
*スピードプロTT(KC075TT) *ヘリオスSL(YA095)
*ビテスP16(KA063) *ミューP8(PA083) *スピードP8(KC083)
*ボードウォークD7(HC072) *カーブD3(PA632)
- <販売時期> 2008年5月7日～2009年4月7日
- <シリアルNo.> お手数ですが、DAHONオフィシャルホームページ (www.dahon.jp)にて貴車のシリアルNo.(製造番号)をご確認下さい。
自転車のシリアルNo.はボトムブラケット(フレーム最下部)に刻印されております。
【該当するハンドルポストの確認方法は別紙参照】
- <対応> ダホン販売代理店の店舗にてハンドルポストの交換

※今回の交換対象は2008年製造のRadius Handle post (ラディアスハンドルポスト)で、上記モデルでも一部のロットのみで、添付のリストにあるシリアルNo.の車両のみです。2009年のRadius V Handle post (ラディアスVハンドルポスト)は対象外です。また、上記モデル以外の商品につきましては、今回のリコールの対象ではありませんので安心してご使用下さい。

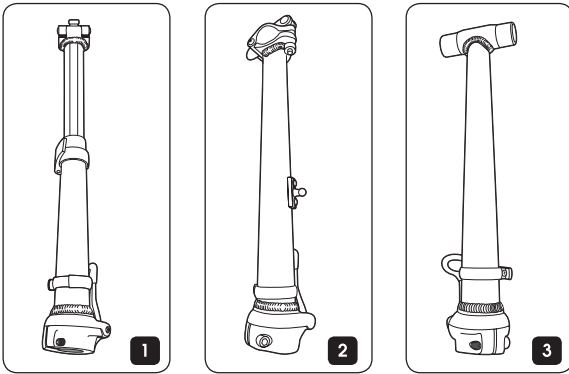
お客様には大変ご迷惑をおかけいたしますことを、心からお詫び申し上げます。ダホンカリフォルニア、及び、株式会社アキボウは今回の件を真摯に受け止め、今後の製品開発や品質管理のさらなる向上に努めてまいります。

以上。

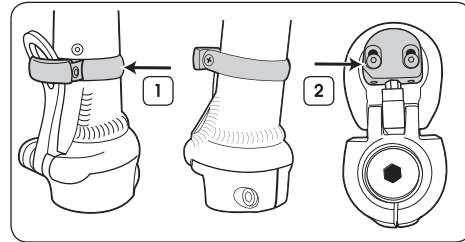
2008年モデルラディアスハンドルポスの自主回収は 全てのハンドルポスに該当するものではありません。現在お乗りいただいているモデルが 自主回収に該当するかどうかを判断するにはご購入いただいた販売店又は DAHONホームページにてご確認ください。自転車が 2008年モデルに該当するとわかりましたら、そのハンドルポスが自主回収の対象であるか下記のご告示に従ってご判断下さい。 (※09ハリオスSL/ブラックの一部車体も該当する場合があります。)

当該ハンドルポスは、次の3種類の可能性があります(下記イラスト参照)：

1. ラディアス テレスコープタイプ ハンドル高の調節可能なハンドルポス
2. ラディアス 固定タイプ ハンドルポス
3. ラディアス VRO 固定タイプ ハンドルポス



ラディアス ハンドルポス (下記イラスト参照)

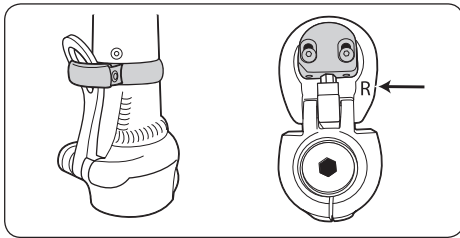


1. リング型 セーフティ フック
2. 内部ステム固定クランプ

ご使用中のハンドルポスが上記の形状であるなら 自主回収の対象となる可能性があります。

以下のハンドルポスは対象外です：

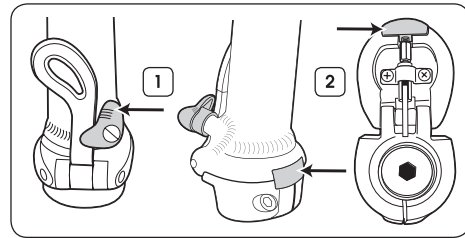
ラディアス ハンドルポス (工場にて良品交換済み)



ハンドルポス上部ヘンジの内側の "R" の刻印があるものは すでに交換されています。(上記イラスト参照)

御使用中のハンドルポスにこの刻印があるなら 自主回収の対象ではありません。

ラディアス V ハンドルポス (下記イラスト参照)

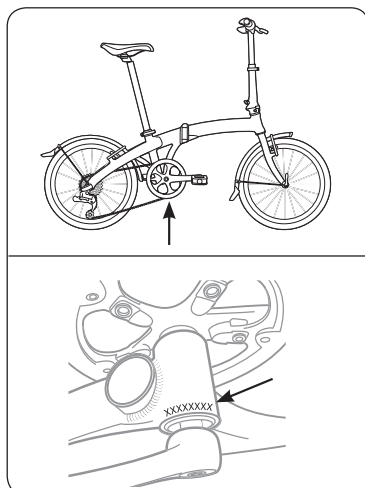


1. V字型オートロックセーフティキャッチ
2. 外部クランプ

御使用中の ハンドルポスがこのような形なら 自主回収の対象ではありません。

御使用中の自転車のハンドルポスが 自主回収の対象となる可能性があると思われる時は：

1. ボトムブラケットの下側に記載されている シリアルナンバーを確認。



シリアルナンバーの表記場所

2. シリアルナンバーを確認いただきましたら、DAHONのウェブサイトにて、その番号が該当するバイクかどうかを確認してください。

DAHONホームページ (<http://www.dahon.jp/>) トップページ左下 TOPICS内にて、ダホン社製自転車装着ハンドルポスの自主回収についてのお知らせと該当車種とシリアルナンバーを掲載しております。

3. シリアルナンバーがリストに載っていましたか？

✓ ・ いいえ： その自転車は 自主回収の対象ではありません。今後 ご心配なくご乗車いただけます。

▲ ・ はい： 下記のことに従ってください。

該当シリアルナンバーである場合 ハンドルポスの交換をお願いします。

お買い上げのディーラーに連絡をしていただき、ハンドルポス交換の為、当該自転車をお持ち込みください。

フレームナンバーが確認できない もしくは自転車が自主回収に該当するかはつきりしない場合は 当該自転車をお買い上げの販売店にお持ち込みの上、ご確認をお願いします。